

山武農業事務所  
山武の

普及だより



山武農業事務所  
山武農林業振興普及協議会  
〒283-0006 東金市東新宿1-11  
☎ 0475-54-0226 FAX 52-7914

ホームページ <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/>

# ネギ産地の拡大に向けて ～スキルアップ研修会の開催～

平成29年度スキルアップ研修

「儲かるネギの作り方」



ねぎづくり研修会開催!

新しくネギを作りたい方、ネギの勉強をしたい方  
を対象に、ネギ栽培・経営を基礎から応用まで  
学ぶ研修会を開催します!

平成29年の研修会予定 (全5回)

- |              |  |
|--------------|--|
| 5月26日<br>(金) | ・ネギ栽培のポイント (定植～収穫まで)<br>・A品率の上がる圃場づくり      |
| 7月           | ・薬剤防除のポイント<br>・黒腐菌核病を止める! 土壌消毒の上手な方法       |
| 8月           | ・5～6月トンネル夏ネギの作り方<br>・灌水による秋冬ネギの短期栽培 (現地視察) |
| 9～10月        | ・効率よくネギの収穫調製を! 収穫調製機械の紹介と作業場見学             |
| 12月          | ・夏ネギの大産地 茨城県岩井地区視察                         |



第一回スキルアップ講習



九十九里地域の若手生産者交流会

平成29年度から、山武地域でネギの新規栽培者が増えている。そこでスキルアップ研修を若手ネギ生産者、新規生産者を対象に2年間(計10回)開催します。

5月26日に、第一回の研修会を開催し、生産者と関係機関あわせて44名が参加しました。研修会では、ネギ栽培マニュアルをもとに「ねぎ栽培管理の基本」、現地試験の結果から「排水性の良い圃場づくり」を講習しました。また、山武市、大網白里市の生産者2名から経営事例の発表がありました。

今後も、若手生産者の技術向上を図り、併せて先進地視察や近隣他産地との交流を進め、オール千葉の取組に向けてネギ産地の活性化を目指します。

ネギ栽培・経営を勉強したい、ネギを新規に作ってみたという方は山武農業事務所改良普及課までご連絡ください。



九十九里  
オーシャン☆ビーフ  
このロゴマークが目印です

山武地域の肉用牛生産農家5戸が集まり、新たに「九十九里オーシャンスタービーフ肥育研究会」が発足し、牛肉の地域内流通を促進させる取組みを始めました。

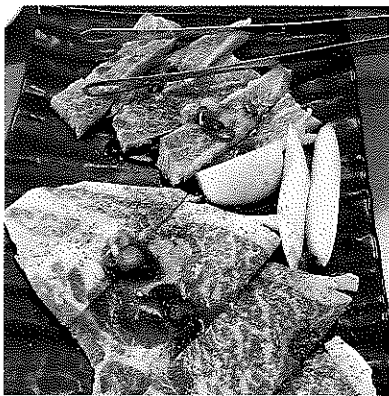
**【肥育研究会発足のきっかけ】**  
山武地域を訪れる観光客からは「地の物が食べたい」という声が非常に多く、魚や野菜の地域内流通はあるものの、肉は地元産が直接手に入らない問題があり、飲食店業者から強い要望がありました。

# 山武地域のお肉が食べたい！ 九十九里オーシャンスタービーフ 肥育研究会の取組み

そこで、山武地域での牛肉の消費拡大と更なる肉質向上を目的に、平成28年11月に会が発足しました。

## これまでの活動と今後

現在、山武市4店舗、横芝光町5店舗、東金市2店舗の飲食店及び精肉店が取り扱いはじめた他、管外4店舗、都内数か所と、取り扱いも広がってきました。今後は、より消費者の望む肉質にするため、飼養管理技術の勉強会や新たな飼料の検討、加工品の開発など農商工が連携して地域の活性化を目指します。



さんぶに是非食べに来てください!

# 地域で活躍する 山武の若手生産者

山武市で新規就農し、水稲10ha、畑作物（麦、大豆、蕎麦など）13haの経営をしている藤田雄一さんを紹介します。

藤田さんは、母の出身地である山武市で、荒れていた祖父の田畑と山林を元に戻したいと4年前に就農しました。

就農する以前は、水質、大気等の環境汚染調査の仕事に携わっていました。仕事をすることで徐々に環境への感心や食への興味が高まり、農業ならば、自然に触れながら、一番近くで自然を守って行くことにもつながるのではないかと、という強い思いで転職を決意したそうです。

初めての農業で、地域の大規模稲作農家の農場で働きながら技術を習得しました。現在は経営の傍ら、仲間と里山の保全活動にも取り組んでいます。



一部の田畑では、肥料や農薬を使わずに栽培しています。自然食品会社に販売するほか、自身で販路を開拓して、市内のレストランへも米や小麦粉の販売が広がってきました。小麦粉はバウムクーヘンとして使われ、なかなかの評判です。

今後は、小麦や蕎麦を使った加工品を作り、販売にも取り組んでいきたいそうです。「チャレンジしたいことは山ほどある」と語る藤田さんの、益々の活躍が期待されます。

# 施設野菜の単収を上げる 複合環境制御技術の取組

施設野菜では、近年の燃油や資材費の高騰と併せ、単収と販売単価が伸び悩む中、特に越冬作の所得率は減少しています。

そのため、単収向上技術として、全国の施設園芸農家で取組者が増えているのが複合環境制御技術です。

複合環境制御技術のポイント  
は、冬の晴天日に炭酸ガス濃度を昼間400ppm以上に保つこと(図1)、ハウス内気温のピークを正午以降にすること(図2)が挙げられます。また、栽培管理では、晴天日のかん水量を増やすこと、追肥の頻度を高める必要があります。

現在、山武地域でもキュウリ、ミニトマトで複合環境制御技術に取り組む人が増えています。この技術を実践している越冬キュウリほ場では、実施3年目で約2倍の単収となりました。

山武農業事務所ではICT(情報通信)技術を活用した複合環境制御技術の改良・確立に向けて、今年度も越冬キュウリほ場を中心に現地調査・技術普及に取り組んでいきます。

図2 晴天日の気温

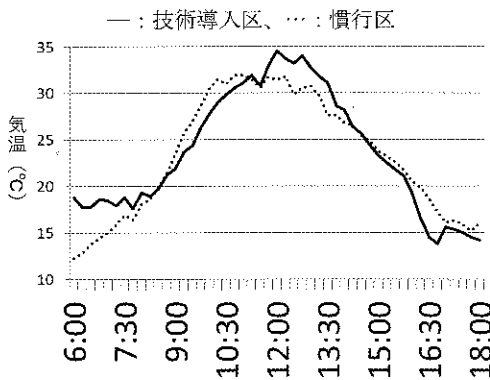
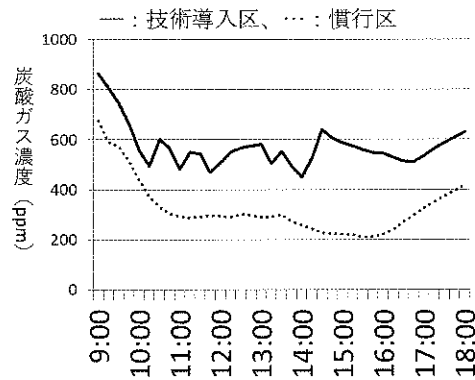


図1 晴天日の炭酸ガス濃度



## スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)の今後の防除

今年5月にスクミリンゴガイ病害虫発生予察注意報が発表されました。農林総合研究センターの調査地点では過去十年で最も高い被害株率(本年は0・59%)となりました。山武管内でもスクミリンゴガイによる被害が拡大していますので、来年以降の被害軽減を図るため、稲刈り後の防除、特に地域単位で密度を下げる取り組みが必要です。

を下げるため、ほ場を乾燥させ、何度か耕うんしましょう。耕うんは丁寧に行うことで、貝に傷がつき、越冬貝を減らすことができます。

①貝は用排水路やマスなどで越冬しています。このような場所は泥や落ち葉などが多いため、土や水の中で越冬するスクミリンゴガイにとって好適な環境です。収穫後は、水路の流域単位での共同作業(泥上げや卵をつぶすなど)をこまめに行い、貝の密度を下げましょう。

③稲刈り後、水田に水があるほ場では、石灰窒素施用による殺貝が有効です。石灰窒素は10aあたり20〜30kg施用します。なお、石灰窒素は窒素分を含むため、翌年の施肥設計に注意してください。

②収穫後は、ほ場内の貝の密度



排水路で越冬しているスクミリンゴガイ

# 農地の保全に お困りの方はご相談下さい

農業からのリタイアを考えている方、相続した農地の管理に困っている方、水田をやめて畑に専念したいなどで、貸したい農地がある方は、農地のある市町村、山武農業事務所又は、公益社団法人千葉県園芸協会（農地中間管理機構（以下、機構））にご相談下さい。機構が規模拡大を図りたい担い手や新規就農者など農地の受け手を探します。また、ご近所、お知り合いに農地を貸したい場合も、機構にご相談下さい。

（新規分以外）

1・0万円／10a

### ② 経営転換協力金（個人）

離農又は、畑に専念するため水田等の部門をやめ、その農地を機構へ貸した場合、面積に応じて  
3万円～70万円／戸

### ③ 耕作者集積協力金

連続する2筆以上の農地などを機構へ貸した場合  
1万円／10a

（なお、協力金の単価は申込面積によって変動する場合があります。）

機構を活用して支払要件を満たすと、以下の「機構集積協力金」が支払われます。

### 協力金の内容

#### ① 地域集積協力金（地域）

集落などの農地をまとめて（2割超）機構へ貸した場合  
1・5万円～2・7万円／10a

（新規分）

詳細は、各市町村窓口、山武農業事務所（電話0475-5410226）又は、（公社）千葉県園芸協会農地部（電話043-223-3011）までお気軽にお問合せ下さい。

## いきいき帰農者等 研修の開催

定年帰農者向けの「いきいき帰農者等研修」を左記のとおり計画しました。興味ある方はどなたでもお気軽に参加ください。  
日時…9月26日（火）  
1時半～

場所…山武合同庁舎 会議室  
内容…イチジク栽培講習会

畑への植付から、剪定・管理など、栽培をはじめたい人対象です。

一般的にイチジクは、病害虫の発生が比較的少なく、開園に際しての初期投資が少ない等、果樹の中では栽培が比較的容易で、経験がない人でも取り組みやすい品目です。  
参加費は無料です。

### 問い合わせ先

山武農業事務所  
改良普及課

☎0475-

54-0226

（田中・矢内）



## 千葉県立農業大学校 平成30年度 入学生の募集

千葉県農業の発展に寄与する優れた農業の担い手や指導者の育成を教育目標に掲げ、左記の日程で入学試験を行います。

### 願書受付（一般入試）

#### A日程…

平成29年12月11日（月）

～12月22日（金）

#### B日程…

平成30年1月29日（月）

～2月9日（金）

### 試験期日（一般入試）

A日程…平成30年1月12日（金）

B日程…平成30年2月21日（水）

詳しい受験資格等の情報は左記のホームページに掲載します。ご不明の点については電話で直接お問い合わせください。

### 申込・問い合わせ先

千葉県立農業大学校

電話

0475（52）5121

<http://www.pref.chiba.lg.jp/noudai/>